

計画事業番号	00314	事務事業名	生涯学習支援情報システム整備事業	担当部署	教育部文化課	電話	372-7667
--------	-------	-------	------------------	------	--------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	図書館法・社会教育法			
事務事業開始年度	平成19年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 4 節) 社会教育の充実	
	(施策 2) 学習機会の充実	
2 対象	生涯学習支援情報システム	
3 目的と内容	生涯学習支援情報システムを運用し、図書館及び市内公共施設が持つ学習機能の充実を図るとともに、使用料の管理など安全で安心できる施設運営を補助する。	
4 実施内容(手段)	27年度まで	生涯学習支援情報システムの運用(40施設) ①図書館・4分館の5施設 (本館・大曲分館・西の里分館・西部小分館・住民センター分館) ②学校図書館15施設 (小学校8校・中学校6校・陽香分校) ③施設予約端末19施設 (芸術文化ホール等) ④生涯学習情報端末1施設 (教育委員会)
	28年度	前年度の内容を継続

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実。 システム 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム	「生涯学習支援情報システム」の活用による施設運営の充実 システム運用 道新記事閲覧システム

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	図書館システムや施設予約システムは、施設の運営をしていく上で不可欠なものとなっているため、ソフトウェアの適正な管理のもと、今後も継続した運用を行っていくが、施設予約システムの運用については、更新に向けて管理体制を含めて再検討が必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			11,638	11,379	11,390	11,390
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	11,638	11,379	11,390	11,390
	① 合計		11,638	11,379	11,390	11,390
	人件費	② 人数(年間)	0.20	0.20	0.20	0.20
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
④ =②×③		1,800	1,800	1,800	1,800	
総事業費①+④			13,438	13,179	13,190	13,190

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 端末設置施設数	目標値 実績値	40	40	40	40
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	① 市民一人当たり導入費用 システム費用/人口	目標値 実績値	222	222	222	222
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	図書館システムや施設予約システムは、市民サービスを提供していく上の情報や管理など不可欠なものであり、システム整備は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	図書館資料の管理、施設諸室の利用の管理や空き情報の提供など広く活用されており、各施設運営には欠くことのできない状況となっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	図書館システム、施設予約システムともに市民に対する利便性が図られている。施設予約システムについては、更新時に向けた管理体制等の検討が必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	システムの更新・導入にあたっては、機能の充実について十分に検討されており、今後も効率的に稼働できるよう配慮する。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。